

第436回

一橋大学開放講座

メンタルヘルスが 危ない

～大介護時代 心構えはありますか～

年間約10万人の労働者が家族の介護や看護を理由に仕事を辞めています。「実の親と義理の親」、「親と配偶者」、「1人で複数の家族を介護する“多重介護”」。そして、少子化による介護者の減少が急速に広がり、事態は深刻さを増しています。あなたに心構えはありますか？

親が要介護状態になるとき

～家族介護にどこまで依存できるか

18:00～19:00



小塩隆志 氏
一橋大学経済研究所教授

厚生労働省「中高年縦断調査」のデータから、いまおきている中高年のメンタルヘルスのリスク。家族と社会関係がどのようにメンタルヘルスに影響を与えているか、実証します。

家族介護の先にあるもの

～家族崩壊を招かないために

19:00～20:00



牧野史子 氏
NPO法人介護者サポートネットワークセンター・アラジン
理事長

辛くなるのが介護離職者の悩み。介護に追われる日々から開放された途端、自分自身の生活が行き詰ってしまう。そんな声を「地域」で受け止めるシステムを作り、多くのケアラー（親などの介護をする人）の相談を受けとめてきました。日本の介護現場の第一人者が問題提起します。

2016年11月17日(木)

18:00～20:00 (開場17:30)

如水会館 2F「オリオンルーム」 参加費：無料

お申込み

▼URLから
<https://www.supportyou.jp/josui/form/118/>
(436 開放講座 で検索)
▼FAXから 03-3262-2150
(講座名、お名前、ふりがな、電話番号を明記の上、送信ください)



お問合せ

如水会 研修文化グループ
03-3262-0126 seminar@josuikai.info

主催：国立大学法人一橋大学、一般社団法人如水会